

## 社会科

【内容】 中間試験における Googleforms 使用報告

【使用アプリ】 Google forms

【事例紹介】

## ○実施方式

全学年問題用紙は紙で用意し配布した。

回答用紙については以下に記載。

Google forms はテストモードに設定した。

45 分間の解答時間とし、最後の5分で一斉に送信させた。その後、送信ができていないか確認した。

（1 学期期末の美術のテスト実施の際、送信できていない生徒が数名いたため）

採点でもトラブルを減らすため、全て「ひらがな」または全て「漢字」のみ正解とした。

1 年生：Google forms で解答。文章での記述問題は紙で解答

（記述問題は、それだけの大問を設問）。

2 年生：全て Google forms で解答。

3 年生：Google forms で解答。文章での記述問題は紙で解答

（記述問題も大問の中に入れ込む）。



## ○試験実施中の課題

1 年生：漢字の読みが分からず漢字を入力できない生徒がいた。

2 年生：特になし

3 年生：・間違っって誤送信する生徒がいた。（約 10 名）その場で紙の回答用紙で対応した。

・途中で日本語入力できなくなる生徒がいた。（約 4 名）

全 体：タブレットモードでないとカンニングが生じるのではないか。



## ○実施中の課題に対する対応策

・1 年生は誤送信を防ぐために最終確認のセクションを設置した結果、誤送信はいなかった。

・Chrom book が使えないことを想定して、紙の回答用紙も用意しておいた。

## ○採点時の課題

・模範解答を後から追加すると点数に反映されない。

・生徒個々の正答を見て確認することは検索に時間がかかり困難だった。

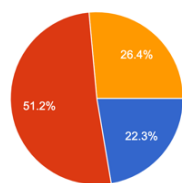
## ○事後アンケートより

1 年生：今後について・・・紙に戻す 21.9% 改善して継続 21.9% 継続 56.3%

2 年生：今後について・・・クロムの方が良いが約 8 割だった。

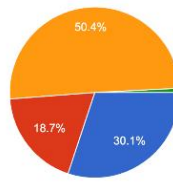
## 3年生

今回のテストについて  
121件の回答



● 今回の方法は良い  
● あまり良くない  
● 良くない

今後のテストについて  
123件の回答



● 全てクロムブックがよい  
● 全て選択式ならクロムブックでよい  
● 全て紙がよい  
● どちらでもよい

### ■ 生徒の意見

#### (肯定意見)

- ・文字書くのが面倒なのでずっとクロムなら楽やしいと思う。
- ・手が疲れなくていい。

#### (改善意見)

- ・試験時間が45分は短い。
- ・ペーパーとクロムで別れているところが面倒だしやりにくい。
- ・紙とクロムブックがあると机の幅が取られて紙に書きにくかった。
- ・入力が難しい文字があるのでペーパーテストのほうがいいと思う（ふえなど小文字）。
- ・記述問題を解くときにとてもクロムブックが邪魔だった。
- ・記述が紙なのと採点を見るのが面倒。
- ・問題文もクロムにのせてほしい。
- ・クロムだとタイピングが苦手な人には不利。
- ・打ち間違いがありそうだった。
- ・クロムブックにすると、単語すべて覚えていなくても、変換すると出てきてしまうので良くないと思う。カンニングがしやすくなる可能性がある。
- ・見直しをしにくい。
- ・あとから家庭学習として活用できるので紙のままがいいです。記述問題などの良かった回答をクラスルームなどに表示してほしいです。
- ・テスト中見直しをするときに、「次へ」や「前に戻る」、を押さないといけないので少し手間だと思いました。すべて答えられていたか確認するときに大変でした。
- ・間違えて送信ボタンを押してしまう。

### ○全体の考察

3年生は全体的に紙の意見が多かった。入力の能力の差や慣れが関係してくると考えられる。

1、2年生は小学校からの使用年月が長く慣れているため、アンケートの結果も継続の割合が多く Chrome book でのテストでも適応出来ると考えられる。

採点は担当教員2名が負担軽減につながったという意見だった。

今後問題文も form に記載し、オンラインで行うことは可能だと考える。

### ○今後について

1年生：EILIS を使用してテストを行う。

2年生：問題文も form に記載する。

セクションを設けず1ページで解答欄を作る。

手書き入力モードも併用する。

文章記述問題も form で解答する。

3年生：紙媒体に戻す。



☆教育委員会主幹講評☆ GIGA スクール構想により、教員の業務の効率化や負担軽減も可能となってきています。今回は、中学校における定期試験での ICT 活用事例を紹介していただきました。定期試験の作成や採点といった業務負担により、児童生徒と向き合う時間が確保しづらいという課題が学校現場にはありましたが、今回のように ICT を効果的に活用することで、事務作業の負担を軽減し、教員の本業である児童生徒としっかり向き合う時間を確保し、きめ細かな学習指導ができる環境の提供を目指してもらいたいと思います。今回は回答用紙についての活用でしたが、今後作問についても研究を進めていただき、学校間で共有していただきたいと思います。